



ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立義務教育学校八束学園前期課程		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	発見！すてきな八束 ぼたんのひみつをさぐる	八束町花卉生産振興センター、牡丹染め 保存会、由志園、由志園アグリファーム 、JA八束
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・特産品である牡丹について、年間を通して見学・体験活動を行うことにより、地域の伝統産業への理解を深める。 ・牡丹農家の工夫や努力を知り、学んだことを地域に発信することを通して、ふるさと八束への愛着を高める。 	
1 取組の概要			
3年生が八束町の特産品である牡丹を題材とし、年間を通して以下の体験活動を行った。			
時期	活動内容	活動のねらい	
4月	中国牡丹園見学	様々な牡丹の品種を観察し、牡丹の美しさに触れる。	
5月	牡丹摘み・花びら漬け体験	摘んだ牡丹の花びらを漬けて色出しをし、染液を作る。	
5月	牡丹染め体験	色出しした染液を使って、オリジナルのハンカチを作る。	
6月	由志園見学、牡丹学習	地元にある庭園の美しさに触れるとともに、牡丹の歴史について学ぶ。	
10月	アグリファーム 接ぎ木体験	1年中牡丹の花を咲かせるために芍薬の切り口とぼたんの芽を接着させる接ぎ木の技術を学び、農家の努力を知る。	
2月	由志園 牡丹発表会	地域の方や見学・体験活動の際にお世話になった方々、観光に来られた方へ、牡丹の魅力について発表する。	
3月	JA八束 牡丹出荷見学	八束町の牡丹が全国各地へ流通する仕組みを理解する。	
2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。			
(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)			
地元の牡丹に魅力を感じ、さらに広めていきたいという意欲を湧かせるため、牡丹が咲いている地域の施設見学や牡丹の花びらの染液を使ったハンカチ作り体験を計画した。			
(学力育成の視点から)			
牡丹を長い期間美しく咲かせるための工夫や苦勞を学ぶために、牡丹摘みや接ぎ木作業、出荷作業など、実際に仕事を行っている方とともに体験する活動を計画した。			
			
3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）			
(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)			
地域の施設見学をきっかけに牡丹について愛着が深まり、体験活動や調べ学習を通して学んだ牡丹の魅力について、地域の方に伝えたいという意欲を抱き、発表することができた。			
(学力育成の視点から)			
当初は八束町では牡丹が有名であるという程度の認識であったが、体験活動を通して地域の牡丹農家さんの熱意や優れた技術に触れ、社会科単元「農家の仕事」にもつなげることができた。			
			
4 課題や今後の展望			
見学・体験活動を通して、特産品である牡丹の魅力や農家の努力についての理解は深まった。今後は、自分たちが八束町の牡丹を守っていくために何ができるかを考え、実践していけると良い。また、八束町の牡丹の魅力を地域の外へと広く発信する機会を設けたい。			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)